

# 阿部正道

あべ・まさみち

福山阿部家当主(第12代)

## 経歴

生:大正6年(1917年)7月11日、東京西片町生まれ

没:平成23年(2011年)11月22日、享年95歳

昭和16年(1941年)12月	25歳	京都大学史学科地理学科を繰り上げ卒業
昭和17年(1942年)4月～20年(1945年)9月	26～29歳	軍隊
昭和21年(1946年)4月	30歳	至誠高等女学校で教師となる
—	—	広島青年師範(現広島大学水産学部)勤務
昭和24年(1949年)1月～41年(1966年)3月	33～50歳	県立鎌倉高校に勤務
昭和41年(1966年)1月～49年(1974年)3月	50～58歳	阿部幼稚園(現・西片幼稚園)を経営
昭和41年(1966年)4月～51年(1976年)7月	50～60歳	県立神奈川博物館勤務(準備室から)
昭和54年(1979年)～平成10年(1998年)9月	63～82歳	西片町会長
—	—	歴史地理学(特に鎌倉街道など古道)を研究
—	—	福山誠之館東京同窓会名誉顧問

## 生い立ちと学業、業績

「私は父(阿部正直)とは異なって、歴史地理学にすすみましたが、これは母方の祖父、阿部正功(分家の棚倉・阿部家)の道を受け継いだようです。

この祖父は、明治時代に土俗学と呼ばれた考古学・民俗学の研究で知られ、鳥居龍蔵博士らと各地をまわった人物です。

大学院に残って研究をと思う矢先に戦争となって、第1回の繰り上げ卒業、翌春から終戦の9月まで軍隊です。

戦後は状況が急変して、それどころではなくなり、教職につきました。

調べることが好きなのは、代々の性格でしょう。

さらには、祖父(阿部正桓)も父も私も、歩きまわることが好き、自然が好きなのです。」

正道氏は、のち、県立神奈川博物館に勤務、鎌倉街道の考証など研究を重ね、ヨーロッパへ

も歴史街道を調査に出掛けた。

『かながわの古道』、『鎌倉街道』、『鎌倉の古道』などの著書があり、古道の話となれば尽きない。

父親は、大空に「大気の道しるべ」を求めたが、子は「歴史に埋もれた道しるべ」を求めて古道の研究に情熱を注ぎ続けている。

ご嫡男は阿部正紘氏。 (出典1)

### 誠之館所蔵品

管理No.	氏名	情報の名称	媒体の名称	制作/発行	日付
00394	阿部正道 著	「西方町の今昔」	『誠之舎－戦争と占領下の一学生寮の記録－』	誠之舎潺潺会	昭和60年
03307	阿部正道 著	「北海道一周の船旅～福山藩と蝦夷地～」	『福山誠之館同窓会報(第6号)』、4頁	福山誠之館同窓会	平成6年
03307	阿部正道 著	「老中阿部正弘の肖像」	『福山誠之館同窓会報(第7号)』、5頁	福山誠之館同窓会	平成7年
03307	阿部正道 著	「福山藩の洋式帆船「順風丸」と「快鷹艦」－老中阿部正弘と中浜万次郎」	『福山誠之館同窓会報(第8号)』、7頁	福山誠之館同窓会	平成8年
04424	阿部正道 著	「葦陽城」	『誠之館創立百五十周年』(誠之館同窓会報特別号)、18頁	福山誠之館同窓会	平成16年
7271	福山城博物館 編	—	『福山阿部家展－受け継がれた武家資料－』	福山城博物館	平成27年

出典1:『日本の肖像(第5巻)』、45頁、毎日新聞社刊、1989年11月30日

出典2:『誠之舎－戦争と占領下の一学生寮の記録－』、文集『誠之舎』編集委員会編、誠之舎潺潺会刊、昭和60年6月28日

2005年2月14日更新:経歴●2005年3月3日更新:肩書●2006年2月21日更新:関連情報●2006年6月1日更新:タイトル●2007年9月27日更新:経歴●2007年10月9日更新:関連情報●2007年11月19日更新:経歴・本文・誠之館所蔵品・関連情報●2008年1月23日更新:関連情報●2009年7月23日更新:本文・誠之館所蔵品・関連情報(削除)●2011年11月24日更新:経歴●2015年12月10日更新:レイアウト・誠之館所蔵品●